

平成28年 第13回 教育委員会定例会議事録

招集日時 平成28年10月26日(水曜日) 午後2時開会/午後4時20分閉会
招集場所 市民会館2階 第2会議室
教育長 山下修平
出席委員 篠原隆一、酒谷百合子、山下裕嗣
会議列席者 梶谷事務局長、山田次長兼学校指導課長、山本教育庶務課長、崎田生涯学習課長、中田スポーツ課長、
畷崎文化財保護課長、前野中央図書館長、河崎屋山中図書館長、奥村マラソン開催推進室長、
渡部教育庶務課長補佐、谷子育て支援課長補佐、高橋子育て支援課主査

山下教育長 平成28年第13回教育委員会定例会開会宣言

挨拶

2学期に入りまして計画訪問が9月26日の橋立小学校を皮切りに、11月9日の錦城東小学校まで8小学校で行われます。本日も午前中に山代小学校の計画訪問に行ってきました。どのクラスの授業も大変落ち着いて、先生方も非常にいい表情で授業をされて、校長先生からも本当に落ち着いていい状況になっておりますと報告がありました。我々も見てそれを実感しましたが、やっぱり先生方の力で学校もこんなふうになるんだということを実証していただいたような感じで、非常に気持ちよく帰って来られました。明日、それから来週もまだ続きます。教育委員の皆さんにはそれぞれの学校の様子をまた是非見ていただきたいと思います。それから11月に入りましたら、加賀ロボレーブ国際大会第2回目が行われます。前回より参加するチームも増えまして、さらに盛大に開催できるかと思えます。それから学校規模適正化計画について、今各地区への説明会へ回っております。これで5カ所終わりましたが、どの地区へ行っても、地区の説明がなく新聞に載ってしまったことに対して、非常に不親切だということを言われますので、そこに至る事情ですね、この教育委員会が公開の場であり、その場で決定したということでマスコミがそれを見て新聞に出したということで説明をさせていただいておりますが、やっぱり一般市民は新聞の記事でそれを見たということで非常に誤解が多いです。新聞に出たところだけが統合だということで、あそこの地区はないのになんでここが先にしなければいけないんだとか、そういうような質問がやはり出ております。これからまだ回って説明会をしていくわけですけど、その誤解を解きながら地域住民、保護者のご理解を得て何回も何回も丁寧に進めていかなければいけないかなと思っております。

それでは、審議事項に入りたいと思います。議案を見ていただいておりますが、議案第38号と第39号は前回からの継続審査となっております。資料も非常に分厚くて中身もかなり時間を要するということでありますので、順番を変更しまして議案第40号を1番先に、そして2番目に第41号、3番目に第42号、そして4番目に追加の九谷磁器窯跡の整備委員会の委員の委嘱について、この4つを先に行い、そして報告事項の第49号までをやってしまったら、継続審査の第38号、第39号に入りたいと

思います。それが終わりましたらその他ということになります。今日は盛りだくさんで時間も長くかかるかと思いますが、特に38号、39号に関しましては時間をかけて慎重に見ていきたいと思っておりますので、能率よく進められるようよろしくお願いいたします。

それではさっそく審議事項に入っていきます。議案第40号、加賀市教育委員会事務局組織規則の一部改正について山本課長お願いいたします。

- 議案第40号 加賀市教育委員会事務局組織規則の一部改正について
山本課長 資料に基づき説明

山下教育長 今、第40号加賀市教育委員会事務局組織規則の一部改正ということで、文化財保護課のところに自然・文化遺産の保存に関すること、という一行が加わったということであり、4ページの人事異動に伴って文化財保護課に配属されたということでもあります。これについて何かご意見、ご質問ございませんか。

篠原委員 10月18日から新しい方が2人とお聞きしていますが、どなたがなられたのかお名前だけでも書いていただければと思うんですが、教えていただけますでしょうか。

山本課長 配置された2名につきましては、課長補佐としまして北口陽治、そして10月1日付新規採用で谷口公一という者が主事として配置されました。

篠原委員 わかりました。

山下教育長 他、ございませんか。それでは議案第40号加賀市教育委員会事務局組織規則の一部改正について賛成の方は挙手をお願いします。

委員 全委員挙手

山下教育長 全会一致で可決いたします。

次、議案第41号、大聖寺十万石城下町史蹟再生協議会委員の委嘱について鳶崎課長お願いいたします。

- 議案第41号 大聖寺十万石城下町史蹟再生協議会委員の委嘱について
鳶崎課長 資料に基づき説明

山下教育長 大聖寺十万石城下町史蹟再生協議会、今年からまた新しい委員の委嘱ということで、そちらに一覧になっておりますメンバーはすべて再任というかたちですね。これについてご意見、ご質問ございませんか。それでは議案第41号大聖寺十万石城下町史蹟再生協議会委員の委嘱について賛成の方は挙手をお願いします。

委員 全委員挙手

山下教育長 全会一致で可決いたします。続きまして、議案第42号、全国学力・学習状況調査の結果についてということで、これは前回の時にもかなり詳しく説明をしましたので、今日は若干追加になったところがありますのでそのところを簡単に説明をお願いします。山田次長お願いいたします。

● 議案第42号 全国学力・学習状況調査の結果について

山田次長 資料に基づき説明

山下教育長 今、全国学力調査についての結果を説明していただきました。これがいわゆる教育委員会のホームページに載るものであるというふうに理解してください。これについてご意見、ご質問ございませんか。

山下委員 前回からひとつ気になっていたことがありまして、このアンケート調査の項目はずっと同じでほぼ決まっていますか。

山田次長 全国の項目はかなり増えております。新しい観点で「先生はわかるまで教えてくれるか」とかというような項目が今年は新しく入ってございましたし、安定して必ず出てくる質問はあるんですが、新しいものを国の方が入れてきているということで数は増える傾向にございます。

山下教育 全国統一のものであるということですね。

山田次長 そうです。

山下委員 わかりました。

山下教育長 他、ございませんか。それでは議案第42号全国学力・学習状況調査の結果について賛成の方は挙手をお願いします。

委員 全委員挙手

山下教育長 全会一致で可決といたします。それでは次、追加の議案第43号加賀市九谷磁器窯跡整備委員会設置要領（平成17年制定）第4条第1項の規定に基づく、加賀市九谷磁器窯跡整備委員会の委嘱について畷崎課長お願いいたします。

● 議案第43号 加賀市九谷磁器窯跡整備委員会設置要領（平成17年制定）第4条第1項の規定に基づく、加賀市九谷磁器窯跡整備委員会の委嘱について

畷崎課長 資料に基づき説明

山下教育長 これに関しましても今年度から2年間ということで、山本篤加賀九谷陶磁器共同組合理事長が新任されたということでございます。他の方は再任であります。これについてご意見、ご質問ございませんか。

篠原委員 先ほどの議案第41号の大聖寺の史蹟再生協議会もそうなんですが、この九谷磁器窯跡整備委員の委嘱のことも、これは確か今年度4月1日付ですよ。今承認するという事は、4月1日付から2年間委嘱されるわけですけども、毎年会議が何回か行われると思うんですが、まだ会議をまるっきりできていないという状況でよろしいですよ。

畷崎課長 はい。

篠原委員 これではまずいと思います。やはりいろんな委員さんがしっかりと選ばれたわけですから、選ばれるときにはきちんと4月1日付ならば、4月1日以降の近い時期、4月あるいは5月くらいの委員会の時にでも出していただけないかなと。これからは是非そのことを強く要望いたします。以上です。

鳥崎課長 わかりました。
 山下教育長 ではそのようなかたちでお願いします。
 山下委員 委員区分なのですが、一番上の谷内尾さん、石川考古学研究会会長が地区の代表となっているのですが、これは果たしてそうでしょうか。
 山下教育長 これは（２）になればいいんですか。
 鳥崎課長 確認しておきます。
 山下教育長 他、ございませんか。では今の委員の区分のところは確認をして再度提案をするということではありますが、これは保留というかたちとなりますか。今日のうちに言えますか。
 鳥崎課長 今すぐに調べます。
 酒谷委員 ひとついいですか。この各代表者、理事長さんが変わられるとその都度委員の方も変わるんですね。
 鳥崎課長 充て職ということで、理事長に充てる委員さんなので理事長が変われば変わります。
 篠原委員 それに関連して他のところにも充て職がいっぱいありますよね。それも結局任期の途中でも前任者の任期を引き続いてということで、充て職だったら変わる可能性があるというふうに理解してよろしいですか。
 鳥崎課長 はい。
 篠原委員 わかりました。
 山下教育長 それでは後ほど訂正したかたちで決をとりたいと思います。それでは先に報告事項の第49号、加賀市教育及び文化振興事業補助金交付要綱の一部改正について子育て支援課の高橋主査お願いいたします。

 ● 報告第49号 加賀市教育及び文化振興事業補助金交付要綱の一部改正について
 高橋主査 資料に基づき説明

 山下教育長 幼稚園の保育料について、保育園と同様に第2子の半額扱いを無料にするということについての要綱の一部改正ということではありますが、この件につきまして何かご意見、ご質問ございませんか。特にありませんか。これが平成28年11月以降に対象となるということによろしいでしょうか。それでは今の件については報告事項でありますので、そういうことをご理解をいただきたいと思います。
 山本課長 今回の関係で補足を。今ほど子育て支援課から補助金の要綱の改正を説明させていただいたんですけども、なぜ子育て支援課が説明したかというところなのですが、幼稚園に関してはこれは学校ですので本来、教育委員会の事務であります。なんですけれども加賀市の場合、保育園と一体的に事務をした方が効率的ということで、市長部局の方に事務の執行だけを、補助執行というかたちでさせております。そういったことから実際に事務を行っております子育て支援課が本日説明をさせていただきというふうにご理解いただければと思います。
 山下教育長 さきほどの第43号の委員区分はわかりましたか。
 鳥崎課長 はい。委員の区分で谷内尾さんなのですが、所属団体は石川考古学研究会会長となっ

ておりますけれども、元は県職員として働いておりましたが、今現在会長職ということで、考え方としては行政機関の（１）番には該当いたしませんし、（２）番の学識経験者ということにしましては大学の教授だけを充てるということで考えていまして、それで佐々木さんだけを（２）番の学識経験者ということで、それ以外の方は地区の代表者となると語弊があるかもしれませんが、それでどこにも属さないということで（３）番ということになっています。以上です。

山下教育長
篠原委員

今の説明でどうでしょうか。

地区の代表と言いますものすごく違和感があります。志賀町の方ですよ。例えば加賀市とか小松市、せめて能美市くらいだったら地区の代表と言ってもいいのかなという気はします。それから石川考古学研究会会長という立場なんですよ。ですからこの方は考古学という立場で入ってらっしゃるんだと思います。あえてこの方をどうしても入れなければならないのかということも考えますし、地区の代表と言われるものすごく違和感があるんですが、いかがでしょうか。

山下教育長
鳶崎課長

地区の代表者としては非常に違和感があるということであります。

はい、（１）番の行政機関の職員には属さないで、（２）番か（３）番ということになりますと、今の中では学識経験を有する学校の教授というふうに限定しましたが、地区の代表者にあてはめるのも難しいと思うので、（２）番の学識経験者の枠を少し広げてここにあてはめたいと考えております。

山下教育長
鳶崎課長

そうすると後の方は見直しはしなくてもいいですか。

はい、佐々木さんは大学の教授ということで最初から（２）番ですし、福島さんと垣内さんにつきましては埋蔵文化センターの職員ということで行政職員なので（１）番でよろしいと思います。平井さんと山本さんと下口さんにつきましても地区の代表者ということで（３）番でそのまま考えられると思いますので、これでよろしいかと思えます。

山下教育長
酒谷委員

それでは谷内尾さんを委員区分の（２）にするということでご理解をいただけますか。ちょっとお聞きしてよろしいですか。平成28年4月1日からの委員で、半年終わりますね。

山下教育長

はい、先ほど篠原委員のご意見もありましたが、委嘱状は4月1日になるんですけど、実際にまだ委員会を開催していないということ。

梶谷局長

合同で会議はしているはずなんです。4月に委員関係で文化財保護審議会などを4月26日の会議で出しています。ですから今回は山本篤さんの新任のこの部分だけを変えるという、なので任期はここに書いてある任期なんですけど、山本さんの任期は本来変わった時から平成30年3月31日の残任期間になるという、そういう出し方をしなければいけませんでした。委員の交代は1名だけということでございます。そして任期が変わるということであります。

山下教育長

要するに年度途中に加賀九谷陶磁器協同組合の理事長が変わったためにここが新任になったということでご理解いただけますか。賛成の方は挙手をお願いします。

委員

全委員挙手

山下教育長

全会一致で可決いたします。それではその訂正のところをよろしくをお願いします。

それでは審議事項の議案第40号、41号、42号、43号と報告事項の第49号が終わりました。それでは前回からの継続審査になっております、まず議案第38号、平成27年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書について山本課長お願いいたします。

- 議案第38号 平成27年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書について（継続審議）

山本課長 資料に基づき説明

山下教育長 ただ今説明がありました金沢大学の田邊教授にも見ていただいて、前回各委員さんに見ていただいた後ご意見をいただいたものを訂正して載せてあります。1ページずつ順番に見ていったら大変な量になりますので、それは割愛をさせていただきたいと思えます。平成27年度の1年間の教育委員会における事業についてのまとめということであり、それぞれの成果と課題、それから評価についてということであり、何かお気づきの点があればご意見をいただきたいと思います、どうでしょうか。

山下委員 二つほど気になった部分があります。まず最初の13ページ、15ページの新学習指導要領に沿った指導計画と授業改善に向けた取り組みの成果と課題の部分についてなんですが、新学習指導要領に沿った指導計画では趣旨が十分に浸透してきておりと書いてあるんですが、1ページめくった授業改善に向けた取り組みの中では、依然として講義型のみの授業を行っている教員もいるという相反したようなことになっております。これについてももちろん新学習指導要領に沿ったふうに指導はしているんでしょうけど、実際講義型のみの授業を行っている教員もいるという現状をちょっと教えていただきたいです。

山田次長 この新学習指導要領の趣旨というか中身というのは、新しいものに移る準備期間の間からその趣旨の説明、そして年間指導計画というのを教員にお願いして、教員の間で作っていただいて各学校に配布してということで、この学習指導要領の中身については周知を徹底していて、先生方もわかっているんだけど、抗議型の授業というのは先生が持つ授業のスタイル、どうしても子どもを中心に活躍させるという授業よりも、チョーク一本でという授業がなかなか脱却できない先生がまだいるので、それは指導要領の趣旨は理解しているんだけど、まだ十分には反映できないという先生方もいらっしゃるということで書いてあるということでございます。

山下委員 そういった先生については指導というか方向性をつけていただいていると思えます。もう一点、22ページの中谷宇吉郎科学奨励賞なんですが、これについて大きな予算を使っている割には実績が非常に少なく4件、目標は10件となっております。これについてももちろん予算はかかるんであろうと思えますが、費用対効果的な面で検討が必要じゃないかなという意見でございます。

山下教育長 これについて学校指導課お願いします。

山田次長 これまで中谷宇吉郎の作品については全国から公募しております。ただその公募の数がやはり全国からくるものが少ないというわけでございます。市内のものは加賀市の小中

学校科学作品展で優秀な成績をおさめた作品の中から選んでいるわけなんです、数年前は県の方へ行ってもかなり良い評価を得られた研究もあったんですが、最近は少し、どう言いますか、特に中学校の方で優れた作品があまり出なくなっているという現状がございまして、現実としてはなかなか作品が揃いにくい状況になってございます。

そのことに関しては啓発というか、校長先生方に科学作品等頑張っていたいただきたいということは言っているんですけども、現実としては今申し上げた状況だということでございます。

山下委員 その中で30万～50万という大きな予算を使っているわけで、この使い道を知りたかったのですが。

山田次長 小中学校の子ども達への表彰ということもございまして、若手研究者を表彰するというようなこともありまして、これは日本雪氷学会に委託しておりまして、そちらの方で選考等をお願いして、30万円でしたかね、それなりの賞金を付けて、そして発表会の方では子ども達、そして私達相手に研究の概要についてプレゼンしていただくというようなこともしております。ですから、若手研究者の育成という部分でお金がかかっている部分があるかなということでございます。

梶谷局長 補足しますと、27年度の施策の内容が小中に偏った書き方になっているのでわかりにくいんですね。事業全体だったら奨励賞なので雪氷学会のことも追加して書いておかなければいけないということになるかと思しますので、その辺修正させていただきます。

山下教育長 他、ございませぬか。

酒谷委員 81ページの四季を通じた多様なプログラムの実施、これはすごく素晴らしいことだと思うんですが、平成23年の実績582人、27年度99人、28年度の目標が800人となっています。予算も人数が少ないからすごく少ないんですが、これは平成23年度から27年度にかけて年々減っているんですか。

崎田課長 自然学習に関しましては、19年度の開始当初につきましては市が主催して子ども達を集めて自然体験活動を行っていたんですが、近年はどちらかというリーダー研修というかたちに変わりまして、リーダーに参加していただいて、リーダーを研修をしてそのリーダーが戻ってそちらの団体の中で子ども達に研修するかたちになりますので、人数も減りましたし、予算の方も減っていったということでありませぬ。

酒谷委員 平成28年度の目標が800名になっていますけども。

崎田課長 開始当初の数字で目標値を設定したものですから、予算の関係もございまして、先ほども言いましたように近年に関してはリーダー研修ということで予算を付けていますので、この800人という数字はおかしいと思っております。

山下教育長 ここはまた訂正したかたちで出てくるんですかね。

梶谷局長 こちらの28年度の目標は24年度に作りました教育振興基本計画その当時の目標ということで、見直し時期が来年ありますので、ここの数値も見直させていただきます。

山下教育長 今のところはこの目標でいくということですね。

梶谷局長 はい、28年度まではここで出ていますので。その辺も経過の中で少し触れてもいいかもしれませぬ。

篠原委員 今の関連したことでございますけども、当初は34万、45万というような予算でしたよね。27年度

からは4万5千円ということなので、この時期からリーダー研修というもの変わったと思うんですが、今後は予算付けや方向性はどのようなかたちに思われてらっしゃいますか。このリーダー研修という少数精鋭というかたちで進まれていくのかということです。

崎田課長 来年度からの予定ということで、予算のシーリングの関係もありますし、形的には前年度当初予算というかたちになると思いますので、リーダーを育成するかたちで取り組んでいければと思っております。

山下教育長 他、ございませんか。

中々ページ数が多いので委員の皆さんも忙しい中で、見ていくのは大変だったかもしれませんが、他に何か気づいた点はありませんかね。篠原委員に指摘していただいたところは全部訂正されているんですね。

山本課長 事前にお伺いしたところは、文章を変えたところもあれば、今日この場で口頭で説明させていただき予定であったところと混在している感じではあります。

山下教育長 これは今指摘していただいたところをもう一度訂正して、そして出すかたちですね。

山本課長 そうですね。今日の審議で直すべきところがあれば直したかたちで最終形にしたいと思います。

山下教育長 これはどこかに載りますか。

山本課長 はい、教育委員会のホームページに掲載を予定しております。

山下教育長 ホームページに載るということは全部公開ということなので、あまりおかしいものがあるとみともないので、お気づきの点があればご指摘をお願いします。

山下委員 70ページと96ページなんですけど、同じことを違う入口から入っていることだと思うんです。70ページは放課後子ども教室への活動支援、96ページは放課後子ども教室の推進となっていて、ダブリとしてみると実際使った豊かな心育成費の数字が全く違う数字で上がってきているのは、何かしらのミスかなと思っているんですが。

崎田課長 すみません、これも訂正をお願いしたいんですが、元々目標値につきましては同一事業でやっているわけなんですけど、23年度は8教室、現在8教室、28年度の目標につきましては20教室になります。育成費に関しましては26年度は同額で、27年度は端数切捨てるの関係で若干違うかなと思います、平成25年度については調べておきます。

山下委員 同一の事業ですね。

崎田課長 はい、同じ事業です。

山下教育長 今のところは調べて訂正をしてください。

山下委員 同じところで、放課後教室なんですけど、今8地区で十数回から百数十回と、これは各地区地区で核となる何かがあって教室を開催いただいているんだと思います。山中温泉地区がないもので、その開催予定というか、開催協力をお願いしているとかそういったことはありますでしょうか。

崎田課長 27年度につきましては山中地区はないんですが、28年度につきましては菅谷の方で教室を開催しておりますので、山中の地区も参加することができます。なるべくこの教室を増やしたいということで、今年度公民館長さんをお願いしております。

山下教育長 他、ございませんか。これはホームページにいつ頃載せる予定ですか。

山本課長 11月の加賀市議会の全員協議会に報告しましたのち、掲載しようと思っています。

山下教育長 そうしましたら、まだそれまで日がありますので、もしまたこれをご覧になっておかしいところがあったら、指摘をいただくということでよろしいですか。我々の方でももう一度各課で見直しをすることも必要かなと思いますので、またよろしくお願いいたします。その時には完成していないとダメですね。そうしましたらまた1週間か、10日のうちにおかしいところをお気づきの点は指摘をしていただくということでよろしいですかね。

山田次長 すみません、修正があります。先ほどの中谷宇吉郎奨励賞の内訳ですけれども、先ほど若手研究者への副賞は30万円と言いましたが、10万円の間違いでした。あとここに書いてあるのは市内の小学生と書いてありましたが、去年は広島からおりまして、県外から中学生ということで、これも修正させていただきたいと思っております。中学生には1万円の副賞、小学生には3千円の副賞ということで、あとペーパーウエイトとかトロフィーとかそういうもの、あとは審査の選考委員の旅費、日当等がありまして、その額になっているということでございます。修正させていただきます。

山下教育長 中谷宇吉郎科学奨励賞については訂正がありました。他、ございませんか。

梶谷局長 すみません補足ですが、事業費が増えたり減ったりしていますのは、受賞者の旅費が遠い人近い人によってありますので、することは変わってないんですが、金額的なものは変わるということでございます。

山下教育長 それでは、1ページずつ見ていくのは大変ですし、時間の関係もありますので、今ご指摘をいただいたところを訂正させていただきますし、今後またお気づきの点がありましたら、連絡をいただいて訂正をしたものを全員協議会にかけるということでよろしいでしょうか。

篠原委員 目標値が28年度に下がるものがあるんです。それで何で下がるのかお聞きしたら、目標値はあらかじめ当初の計画策定の時に決まっていて、それを昨年度の間に達成してしまったので、当時の目標値を書いてあるんだと。そのことは書いておかないといけませんよと言いましたら、山本課長が全部補足で矢印で書いてくださいました。

山下教育長 それでは現時点では今のいくつかの訂正をしていきたいと思えますし、その後またお気づきの点があったらそこを訂正して全員協議会に出すというかたちでよろしいでしょうか。それで賛成の方は挙手をお願いします。

委員 全委員挙手

山下教育長 全会一致で可決といたします。今指摘のいただいたところは確実に訂正をお願いしたいと思えますし、再度各課でミスがないかももう一度確認をお願いしたいと思います。それでは、議案第38号は以上で終わりにしたいと思います。それでは次、議案第39号、加賀市立小中学校の規模適正化に向けて（基本計画）案に対する意見公募、パブリックコメントの結果についてということで、今回はどういう意見があったかということをお知らせをしました。前回から今日に至るまでで事務局でひとつひとつ見ていきました。そうしますと同じような内容のご意見、そして教育委員会としての考え方がだいぶ似てくるようなご意見、これをまとめさせていただきました。そういうかたちでそれぞれの考え方というものを示させていただきたいなということで原案を

作成しましたので、これを見ていただいてこれで良ければパブリックコメントの回答ということで載せたいなと思います。たぶん見ていくとまたこうした方がいいんじゃないかというご意見があるかと思しますので、それではこの件について山田次長お願いいたします。

- 議案第39号 加賀市立小中学校の規模適正化に向けて（基本計画）案に対する意見公募の結果について（継続審議）

山田次長 資料に基づき説明

山田次長 一番最初のページに戻って、意見は66名にいただいたんですが、件数は185件ではなくて184件の間違いです。

山下教育長 それでは184件ということではありますが、同じような意見をまとめていきますとここに書いてあります86件におさまったということでもあります。その中でも同じような意見を集約して回答をさせていただいたということですが、少しページを区切って、1ページずつ見ていきたいなと思います。それではまず1ページ目の人口減少に対する問題に対してということで市の政策等を述べているこの点についてはどうですか。

篠原委員 お願いします。まず細かいところだけ言います。産業の育成 I O Tと書いてありますよね。I O Tという用語なんですけれども、Oは小文字です。「Internet of Things」ですので。

それから内容に関しまして「人口減少対策につきまして」とありますが、この中に市の人口減少対策室だとか、あるいは定住促進の政策だとかいろんな政策を行っていますよね。もちろん教育委員会の問題だけではないというふうにこの項目は捉えますので、それも併せて何個か付記してみたらいかがでしょうか。その方が市が一生懸命に積極的にやっているという姿勢が表れると思うんですがいかがでしょうか。

山下教育長 これに関しては、市の教育委員会というよりも市の政策に対するご意見ということでもありますので。

篠原委員 人口減少対策室とかあるいは地域おこし隊とか、それは市の大きな政策の中に入ってきているので、それを踏まえてこれだけのことをやっているんだということも書かれたらいかがかなと思いました。

山下教育長 はい他、ございませんか。では2ページ目、アクティブラーニングについて、それから15人以上の根拠ですね。

篠原委員 お願いします。10番の回答なんですが、「4人グループが4つできる程度の人数が望ましいと考えます。」と書いてありますね。これは「最低」という言葉が必要だと思います。最低は16人くらいはいるということですよ。

山下教育長 他、ございませんか。

篠原委員 同じようなことなんですが、一番上の「困難が生じます。」と書いてありますね。「困難が生じると予想されます。」などではいけませんか。

山下教育長 表現ですね。なるべく柔らかく正確な説明にする配慮が必要だということですね。

篠原委員 中身に関してはいいと思います。

山下委員 今のところで、8、9、10の回答ですが、上と下と1個にしたらどうですか。「少人数でも可能ですが、」という部分と、下の「4人グループが4つ」という部分は非常にかみ合ってきますし、双方の答えに繋がってくると思うので、2つをまとめたかたちの回答にしたらどうかなと思うんですけど。

山田次長 8、9、10の答えを引っ付けるということですか。

山下委員 そのままくっ付けると二重になる言葉が出てくると思うんですが、アクティブラーニングの考え方、主体的な部分についてはやはりグループで、4人のグループが4つくらいあると良いとひとつにまとめられるような気がしますし、双方かみ合った答えではないかと思います。

山下教育長 そういうかたちでまとめられますか。はい、それでは次3ページ目にいきます。小規模校にもメリットが充分あるんじゃないかということ、山代地区についてのご意見ですね。

篠原委員 26番の回答が「協議していきたい。」と書いてありますよね。「協議してまいりたい。」とかそんなような表現の方が柔らかくていいなと思います。

山下教育長 考え方の大筋としてはこれでよろしいですかね。では4ページにいきます。ここは地区のコミュニティについてですね。何かございますか。よろしいですか。それでは5ページにいきます。これは結構具体的などことどこを引っ付けたらいいというご意見です。

篠原委員 37番では小規模校の教員が大変だと言っていますよね。38番は多人数の学級の担任は大変だと言っていますよね。38番の答えが「授業は」といきなり入っていますよね。「授業は教師の仕事の本務中の本務です。学校全体として軽減できる業務がないか洗い出すことが必要ではないかと考えます」と書いてありますが、これは少人数では準備時間を減らせられるとあるから、授業は本務だと答えられたと思うんですが、多人数の学級担任の方は学校全体として軽減できる業務がないか洗い出すことが必要ではないかと考えますし、その中で、授業がやりやすいようなことを考えていきたいみたいなことだと思うんですが、初めに「授業は」ときているのがあれっと思いました。

山田次長 これはご意見も長い文章で、授業の準備とか丸付けで人数が多いと大変ということが書いてありまして。

山下教育長 これは大きい学校で大変な先生のご意見なんです。

篠原委員 大きな学校が大変なのはよくわかります。

山田次長 そこを強調して書いてあったので、まとめ方がもう少し授業に焦点を合わせた書き方にすればよかったかもしれません。

篠原委員 多人数学級だったら授業の準備が大変なので、多人数学級よりも少人数学級の方がいいというご意見ですよ。本文そのままではないですよ。まとめて書いたんですよ。

山田次長 本文そのままではないです。

篠原委員 本旨はたぶん大人数のクラスの担任も大変だよということが言いたいと思うので、ご意見もそういったふうにした方が、そうすれば授業云々が出てくるであろうし。

山下教育長 それでは次6ページいきます。何かございますか。

篠原委員 これも表現の問題なんですけど、47番の語尾が「思います。」とありますが、「校区は堅持したいと考えております。」としたらどうかなと私は思います。一番下の跡地利用なん

かには思いますと言い切っていると思いますが、他はあまり言い切ると大変かなと思います。

山下教育長
篠原委員
はい、それでは次7ページいきます。
65番も「図ります。」と書いてありますが、「図ってまいります。」とか、「図っていきたいと思います。」がいいと思いますが。

山下教育長
篠原委員
はい、それでは8ページいきたいと思います。
67番も「通学措置を講じます。」とありますが、「講じてまいります。」とかの方がいいと思います。そして76番に複式学級を解消するために先生を採用できないかと書いてあるじゃないですか。今、市単独での採用はありますよね。

山田次長
山下教育長
今、複式解消は県だけです。今現在はしていないんですが、考えていけたらなど。
ここは考えてなんとかという思いをしているんですが、断言できないところがあるので。

篠原委員
山田次長
篠原委員
現在していると思ったんですが、今は県だけなんですね。
県の非常勤だけです。
わかりました。

山下教育長
では9ページにいきたいと思います。先ほどから言われている語尾や文体などはまた統一していきたいと思いますが、これはこっちの方に入れた方がいいんじゃないかとかそういうものはありませんか。

山下委員
山下教育長
山代小関係のものを並べてみるとまとめられる気がするんですが。
そういえばちょっとバラバラになっていましたね。その辺りをもう一回直してまとめられるところはまとめて、だいたい考え方はそのようなものでよろしいですかね。
ただ私、地区説明会に行ってすごく感じるのは、地域住民は新聞の記事だけを見て大分誤解をされているなど。もう5年、10年で決定ということや、具体的なことを言えば、動橋小と分校小を統合しないのになんで山代小にやるんだとかいうことがあるもので、私が言ったのは、新聞に出ているもので市の統合計画は終わりではなく、その後も続くものだというようなことで、具体的にはどこだとは言いませんが、15年後、20年後の予定もあるということ、そうなんですか、ということもあって。やはりこれを見ていると誤解から生じる質問もいくつも出ているなどということもある。これは5年、10年、15年先の話なのでまだまだ決定ではないし、変わってくる部分もあるし、これからの人口推移によってどうなるかわからない部分も出てくるので、ただ原案というものは作らなくてはならないので作ったということをご理解を願わないといけないと思うんですけど。これもパブリックコメントの回答ということでホームページに載せるんですよ。

山本課長
山下教育長
はい。掲載することになります。
それでは今のご意見をいただいたところをもう一度訂正して次回にまたきちんとしたかたちのものを見ていただくということでもいいですかね。

篠原委員
山本課長
公表の締め切りは慌てなくてもいいんですか。
9月15日に締め切りまして、今で1カ月半経過していますので。そうしましたら事務局の方で1回修正しましたものを委員さんの方へ近々郵便なり配布しまして、ご確認いただきたいと思います。

山下教育長 そうしましたら、もう一度議会にきちんとしたものをかけると、それで承認されたものをホームページに載せるということで、これは公開の場でもありますし。ただ今日の段階はまだ継続審査ということでこれは他に出さないということで。

梶谷局長 意見を寄せられて何件あってなど今の経過は11月中にはアナウンスしたいと思います。

山下委員 内容についてはいいので、11月2日にこれだけで臨時会というようなかたちでOKを出したらずぐ出せるんですか。

山下教育長 そんなに慌てなくても大丈夫ですね。長期的なものですから、要は市の考え方を示せばいいと思うので次回でも。

山田次長 そうしましたら、確か今年中に基本計画（案）を取って基本計画をお示しするという、つまりこれを反映して今度、本丸の基本計画の方を直して、案を取ってここで認めてもらってこれを出さないといけないんですよ。

梶谷局長 地区の説明会で反対と言われている限りずっと出せないなので、案は案として出すべきだと思います。

山田次長 案を取って出すんですね。計画ということで。

梶谷局長 一回りした中では5年後を目途にで、実際にあたってはまた説明に入るということで。

山下教育長 案の中にも見直しもあるということも書いてありますから。

酒谷委員 案というものも出すんですか。

梶谷局長 案はもう出ています。

酒谷委員 案を取って出さないといけないですよ。それは議会にはかからないんですか。

梶谷局長 教育委員会だけです。

篠原委員 今は案で説明会をしているんですよ。ずっと案で説明会をするんじゃなくて、次長さんがおっしゃるには案を取って計画として出したいということですね。

山田次長 そういう話で今までできているので、今年中に基本計画を提出しますということで。

山下教育長 遅くとも今年度中には。

梶谷局長 案の段階で地域に説明に行って、反対の方がいる限り案はいつまで経っても取れませんので。統合するとかではなく検討が望ましいということなので、検討結果は変わってくるかと。

酒谷委員 例えば教育委員会の考え方として出しますよね。それに対してまた何かコメントがあった場合どうするんですか。

梶谷局長 これはもう意見を受けたということで終わりです。

酒谷委員 これを出した上できちんとした案を受けて、きちんとした計画を出すんですね。

梶谷局長 例えば今の10年、15年後は表としては書いてないけども、もう少し先の事も書いてあるともうちょっと謳わないといけないかもしれませんね。継続して考えていく上でなど、そういう文言を入れるとかそういう感じになってくるかと思います。

篠原委員 パブリックコメントを取り入れて最終的には案を取ったものを出さないといけないですね。

山田次長 本文も少し変わると思います。

山下委員 大きな意見として人口減少対策についてたくさんありましたよね。

梶谷局長 後ろになんですが、2ページほど項目をあげて書いてあるんです。市としても教育委員

会としても取り組んでいると。最初に見てもらえるように前段の「はじめに」という言葉に中にもっといれておくべきかもしれないですね。努めるんですが、減少はさけられないというような、総合計画的なものも追加していくべきかなと。

山下教育長

それではこのパブリックコメントに対する教育委員会の考え方等は、もう一度まとめて次回の時に決定ということで発表をさせてもらおうということで。地区の説明会を回っていますと何が何でも絶対に反対という方が必ずおります。賛成の方も反対の方もおりますし、それは意見をいただいた中で、特に1回目ですからそういう強烈な意見もたくさんありますので、会を重ねていくごとに段々状況がわかって、過去2校の例からみると段々変わっていつているかなと。時間をかけて丁寧にやるしかないかなと思います。

梶谷局長

最初にこの計画でも統合を決定づけるものではないというものが必要ですね。本当の実施にあたっては地域の人との話し合い、合意形成をとというのも前段に入ればまた変わってくるかなと思います。

山下教育長

なにしろ新聞を見て決定だと思込んでいる方がかなりいらっしゃるの、それを払拭するのに時間がかかるかなと。私も最初の挨拶でそれをしきりに言うんですが、思い込んでしまったら中々それを払拭できないもので。ではこれに関してはそのようなかたちでさせていただくということで賛成の方は挙手をお願いします。

委員

全委員挙手

山下教育長

全会一致で可決といたします。それではその他に入りたいと思います。オーケストラ・アンサンブル金沢によるスクールコンサートについて崎田課長お願いいたします。

- オーケストラ・アンサンブル金沢によるスクールコンサートについて
崎田課長 資料に基づき説明

山下教育長

これは時間は1時間くらいですか。

崎田課長

1時間ちょっとです。

山下教育長

今年度で6中学校を一巡するということになります。

これについてご意見、ご質問ございませんか。なければ次、2016加賀ロボレーブ国際大会について山本課長お願いいたします。

- 2016加賀ロボレーブ国際大会について
山本課長 資料に基づき説明

山下教育長

11日の日は練習日ということで大会は12日、13日ということになります。今年から文科省の講演と経済産業省の講演があります。地方で行われる大会で文科省と経産省が講演をしてくれて、それでその関係の方が来て開会式で挨拶をされるということになりますので、大変国の方も注目をしてきている大会であります。さらに1回目より盛大に成功に終わりたいと思っております。これについてご意見、ご質問ございませんか。それでは次、平成28年度市町村教育委員会研究協議会（第1ブロック）等について山本課長お願いいたします。

- 平成28年度市町村教育委員会研究協議会（第1ブロック）等について
山本課長 資料に基づき説明

山下教育長 市町村教育委員会研究協議会について何かご意見、ご質問ございませんか。

篠原委員 2日目の分科会の会場はわかりますか。

山本課長 会場はまだ県から案内が来ていません。

篠原委員 わかりました。

山下教育長 他、ございませんか。22日の時に次回の教育委員会の定例会を行います。ではその他の
その他で何かありますか。

山本課長 総合教育会議の日程ですが、前回の定例会で11月2日開催ということでご案内させて
いただきました。それで先日のお話などを踏まえまして、総合教育会議というかたち
ではその日は延期ということにさせていただきますので、正式な総合教育会議は延期
ということをご了解をいただきたいと思えます。事前の会議は前回ご案内した通りの
予定であります。

山下教育長 他、ございませんか。

長時間にわたりましてありがとうございます。

これを持ちまして第13回の教育委員会の定例会を終了いたします。

どうもお疲れ様でした。

以上、会議の顛末を記載し、会議録を作成する。